

Mighty Checker PRO 機能要点シリーズ

第5回 不要警告削減のためのチューンアップ...その1 コメント設定による点検対象からの除外

チューンアップ機能は、病名追加や投与量の変更などを行うことによって、標準的な点検では警告となるレセプトを、医療機関で認められている場合に警告をださないようにする、また逆に必要な場合に、警告をだすようにする機能。導入当初は医療機関で不要と判断される警告が少なからずあり、レセプト点検を効率よく行うためには、これらの不要警告を減らすことが重要。

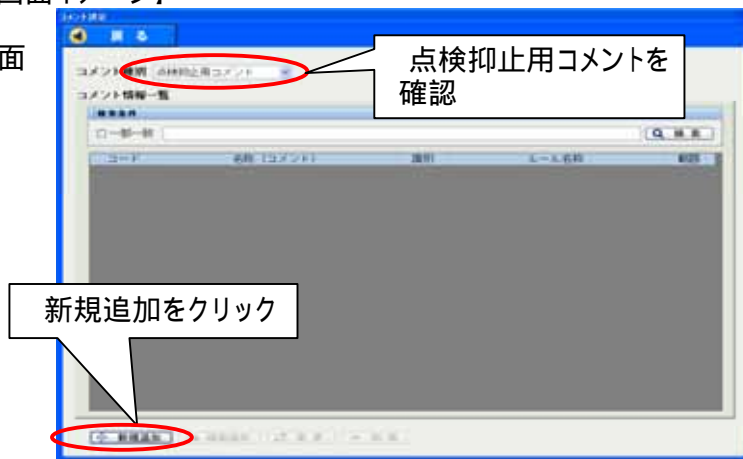
マイティーチェッカーでは、**コメント設定**により、警告がでないようにすることが可能。

1. 通常病名を記載しない**手術前検査**、**入院前検査**、**内視鏡検査**などを実施したとき、病名漏れという警告をださない
2. **他科初診**、**自費初診**などを行ったとき、初診料が算定可という警告をださない

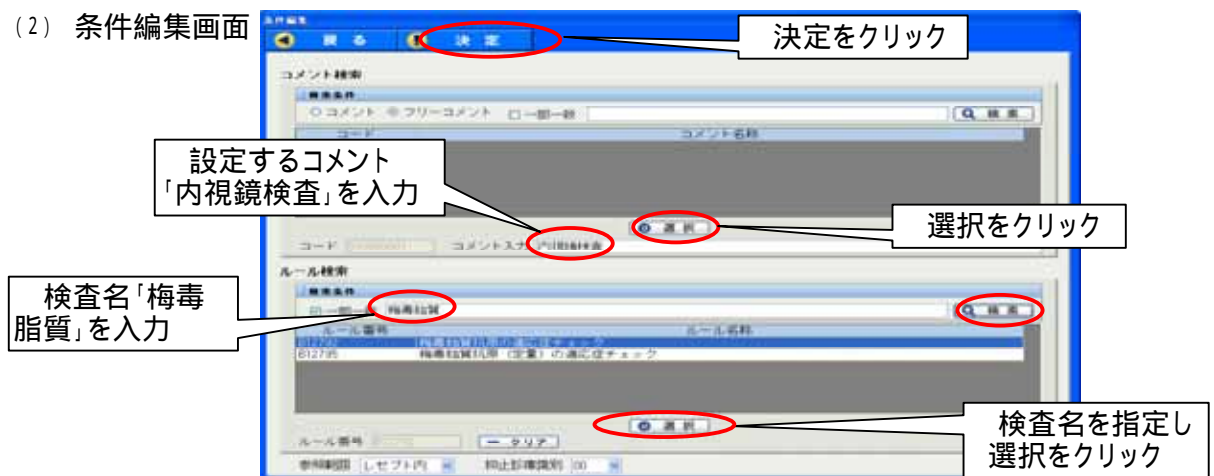
1. 手術前検査、入院前検査、内視鏡検査などで病名漏れによる警告をださない
- ・ 該当レセプトに、「術前検査」、「入院前検査」、「内視鏡検査」などのコメントを記載することとし、コメントがある場合には、当該検査で適応病名の点検をしないようにする、という設定が可能。
 - ・ メインメニューでチューンアップ、コメント設定をクリック。コメント設定画面で 点検抑止用コメントを確認、新規追加をクリック。条件編集画面で コメントを入力し 選択をクリック、検査名を入力し検索をクリック。検査名を指定し選択をクリック、最後に 決定をクリックするとコメント設定画面に戻り、検査リストが表示されるので 適応病名の点検をしない検査を確認。
- 例) 内視鏡検査の時に梅毒脂質抗原の検査をした場合、適応病名がないという警告がでる。
この検査でこの警告をださないようにする。

【コメント設定の画面イメージ】

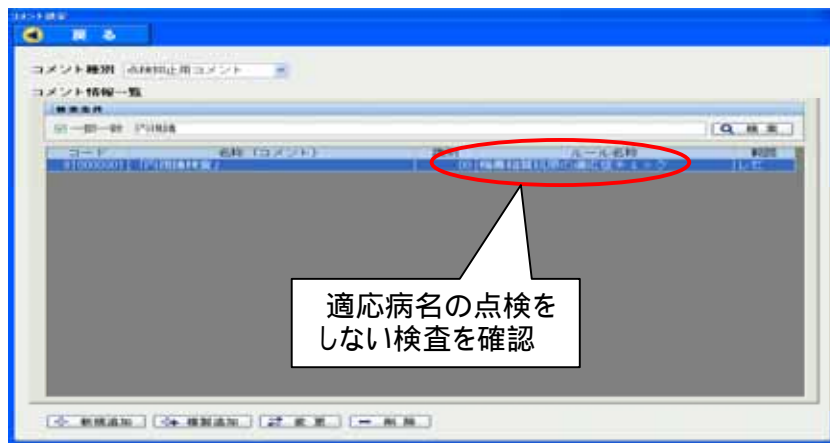
- (1) コメント
設定画面



- (2) 条件編集画面



(3) コメント
設定画面



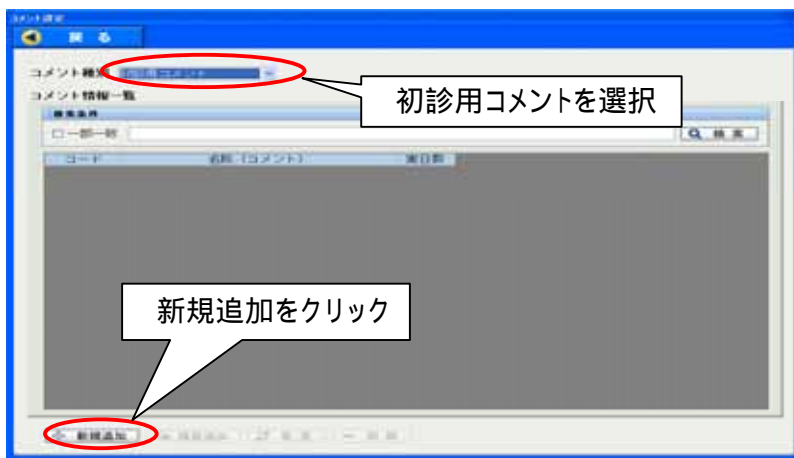
2. 他科初診、自費初診などにおいて警告をださない

- ・別の診療科で初診料を算定しているとき、当該レセプトで「初診料が算定できるのではないか」という警告が現れることがある。このレセプトに「他科初診」などとコメントを記載することとし、コメントがある場合には警告をださないようにする、という設定が可能。
- ・人間ドックや産科の初診は自費の場合が多く、その後の保険診療のレセプトでも同様の警告が現れる。このときも同様に「自費初診」などとコメントを記載することとし、警告をださないようにする。
- ・メインメニューでチューンアップ、コメント設定をクリック。コメント設定画面で 初診用コメントを選択、新規追加をクリック。条件編集画面で コメントを入力し、 選択をクリック、最後に 決定をクリックするとコメント設定画面に戻り、内容確認ができる。

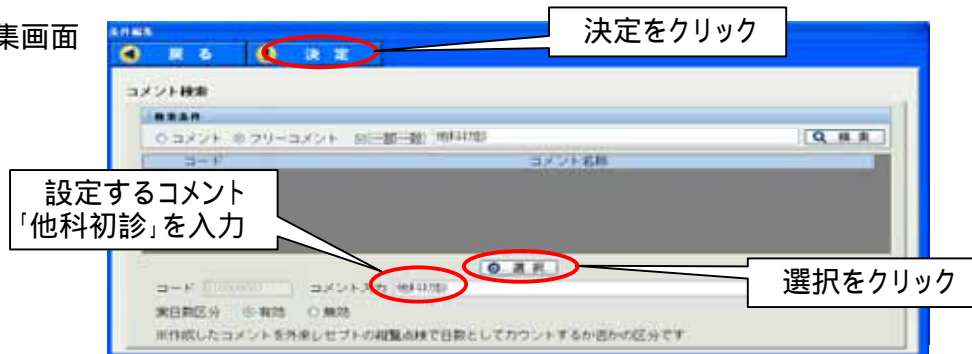
例) 内科で初診料を算定し、外科で再診料を算定したとき、外科で初診料が算定できるのではないかと警告がでる。外科レセプトに「他科初診」などとコメントを記載することとし、警告をださないようにする。

【コメント設定の画面イメージ】

(1) コメント
設定画面



(2) 条件編集画面



株式会社 東京エーアイエス

〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目23番11号 常光ビル
TEL: 03-5800-5911(直通) FAX: 03-5800-5910
e-mail: mity@tais.co.jp URL: http://www.tais.co.jp